

No.618

法音

令和3年

4月号

— 今月のご法話 —

心を整える

目蓮宗
法音寺



勇猛精進

慈悲

今日一日、
人を喜ばせましょう
今日一日、
笑顔で人に接しましょう
今日一日、
ほめ合って暮らしましょう
今日一日、
一善を積みましょう

月刊・法音 令和3年4月号 No.618 目次

【信仰の指針】入徳（ゆづく） 先ずは言葉を慎むことからです 1
【朝のこない夜はない】
心を整える 山首 鈴木正修 2

- ◆ 講日のご案内 17
- ◆ 有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください 18
- ◆ YouTube「法音寺チャンネル」のお知らせ 20
- ◆ 仏教説話・疫病を終息させる道 21
- ◆ 中外日報に『大白牛車』（十）が紹介されました 29
- ◆ 知っているようで知らなかった！法音寺のこと⑬ 30
- ◆ お寺の本棚 34
- ◆ のりのね体験 36
- ◆ 教えて三徳 38
- ◆ 御報恩百万巻納経のお知らせ 40
- ◆ 支院だより 41
- ◆ 福祉のひろば 47
- ◆ ○ 幸せのお手伝い 48
- ◆ ○ 昭徳会・第13回 福祉実践発表会 日本福祉大学で開催 50
- ◆ ○ 日本福祉大学・三法人連携事業の推進 52
- ◆ 賛助員ご芳名 54
- ◆ 幸せの種まき／編集後記 56
- ◆ 連載まんが・ひまわり・99 トイレの神さま 57
- ◆ 法音寺の社会福祉・教育事業 58

表紙題字・信仰の指針 山首上人さま書

掲載写真 表紙・信仰の指針・3頁…梅田雅臣氏撮影
2頁…加納将人氏撮影
表紙写真・オオヤマザクラ

信仰の指針

に
ゆ
う

と
く

入徳

先ずは言葉

慎むことからです

日教五



からし菜



朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

心を整える

昔から『口は禍いのもと』と言います。

そんなつもりで言ったのではないのに、その後悔しても後の祭りということが往々にしてあります。最近、五輪組織委員会の森会長の発言の一部が女性蔑視と受け取られ、瞬く間に世界中にその波紋が広がり、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の会長職を引責辞任となりました。このようなことを舌禍事件と言います。

私が思い出しますのは、1989年にプロ野球の近鉄と巨人が対戦した日本シリーズです。近鉄が初戦からいきなり三連勝して日本一に王手をかけました。三戦目の



勝利投手しょうりとうしゅの加藤哲郎投手かとうてつろうとうしゅがヒーローインタビューで「別に、とりあえずフォアボールだけ出さなかったからね。まあ、打たれそうな気きいしなかったんで。ええ、たいしたことなくったですね。シーズンの方がよっぽどしんどかったですからね。相手あいても強いし」と発言はつげんしたことが、各メディアによって「巨人きょじんは（その年とし）パリーグ最下位さいかいだった）ロッテより弱い」という見出しで報じられました。これが巨人きょじんの選手達せんしゅたちの闘争心とうそうしんに火ひをつけたのか、その後ご巨人きょじんが四連勝しよれんしやうして逆転ぎやくてんで日本一にほんになりました。加藤選手かとうせんしゅの発言はつげんによって運氣うんきの流れながが変わってしまったような気がします。

翌年よくねん、今度は西武せいぶと巨人きょじんが日本シリーズにほんしりーずを戦たたかいました。この時も西武せいぶが初戦しよせんから三連勝れんしやうしました。直後ちよくごの森祇晶もりまぎあき監督かんとくのインタビューが印象いんしょうに残のこっています。「私達わたちは王者おう巨人きょじんに対する挑戦者ちやうせんしやです。三連勝れんしやうしたところで、まだ



まだこれからだと思っております」と、とても謙虚な物
言いでした。結果は西武があっさり四連勝して、日本一
になりました。前年の巨人も西武も実力で勝ったのだと
思いますが、謙虚が大事だなと改めて感じました。

中国の四書五経の一つ『書経』に「満は損を招き、謙
は益を受く、これ乃ち天の道なり」とあります。「満」
は慢心です。「謙」は謙虚です。神仏は慢心な者を嫌
い、謙虚な者を好むということです。

道教の始祖・老子は理想の生き方を「道」と言ってい
ます。そして最も「道」に近いのが水だといっています。

『上善如水』（上善は水の如し）

この言葉は近年、お酒の銘柄になったこともあり、一
般にも広く知られていると思います。どうして水が最も
理想の生き方に近いのかと言いますと、二つの理由があ



ります。

一つ目が「柔軟性」です。水は丸い器に入れると丸くなり、四角い器に入れば四角い形になります。相手に逆らわず相手の出方に応じて、いかようにも体勢を変えていく、そういう柔らかさを持っている。要するに、我がない、ということなのです。

二つ目が「謙虚」です。水がないと地球上の生物は生存できません。そういう大きな働きをしながら水は低い所低い所へと流れていきます。低い所というのは誰でも嫌がる場所ですが、水はあえて人の嫌がる低い所に身を置こうとする謙虚さを持っているのです。「この柔軟性と謙虚さが『道』のありように近い。そこを学ぶように」と老子は言っています。

歴史上の大舌禍事件を紹介します。昭和の初めに昭和



金融恐慌きんゆうきょうこうがありました。社会全般しゃかいぜんぱんに金融不安きんゆうふあんが生じていた昭和2年しやうわねん、衆議院しゅうぎいんの予算委員会よさんいんかいで当時の大蔵大臣・片岡直温おおくらだいじんが「東京渡辺銀行とうきやうわたなべぎんこうがとうとう破綻はたんをいたしました」と言いってしまいました。実際じっさいには破綻はたんしていないのに「破綻はたんした」と失言しつげんしたのです。これを機きに取りつけ騒さわぎが起おこりました。渡辺銀行わたなべぎんこうだけでなく中小の銀行ちゅうしょうぎんこうに人が殺到さつとくしたのです。そして、渡辺銀行わたなべぎんこうはもちろん、いくつかの銀行ぎんこうが休業きぎゅうに追おい込まれました。責任せきにんを取とって若槻内閣わかつきないかくは総辞職そうじしょくをし、次に内閣総理大臣ないかくそうりだいじんとなった田中義一たなかぎいちは大蔵大臣おおくらだいじんに高橋是清たかはしこれきよを任命にんめいしました。高橋はすぐに日銀にちぎんに当時の高額紙幣こうがくしへいである二百円札ひゃくえんさつを大量たいりやうに刷するように命令めいれいしました。「そんなに急にたくさん刷すれません」という意見いけんに、高橋たかはしは「片面かためんだけで良い」と裏うらが白しろいお札さつを500万枚まんまい刷すらせました。それを各銀行かくぎんこうが店頭てんどうに山積やまづみし、支払しはらいに滞りおそりがないことをアピールしたのです。



これが功を奏して取りつけに來た人達は安心して歸った
ということですよ。さらに高橋は追加で750万枚片面だ
けのお札を刷らせ、銀行に届けさせました。高橋の機転
により間もなく混乱が収まり、金融恐慌は沈静化したの
です。

高橋は以前にも日本を救ったことがありました。

日露戦争の時です。明治時代には日清戦争があり、次
に日露戦争がありました。日露戦争は殊に国家の存亡を
かけた戦争でした。その時に日本はロシアと戦うための
お金が不足していました。高橋は当時、日銀の副總裁で、
總裁の命を受けて、戦費調達のために戦時国債の公募で
同盟国のイギリスに渡りました。

投資家の間には兵力差による日本敗北予想があり、日
本政府の支払い能力に對しても不安があり、なかなかう



まくいきませんでした。しかし高橋の粘り強い交渉の結果、香港上海銀行のロンドン支店長の助力もあって500万ポンドの公債の目処がつけました。しかし、第1回戦時国債にはあと500万ポンドが必要でした。

そんな中、ある晩餐会で隣席したユダヤ人銀行家やコブ・シフが「残りの500万ポンドの国債を引き受けよう」と申し出てくれたのです。シフは当時、西半球で最も影響力のある2つの国際銀行の一つ、クーン・ローブ商会の頭取でした。

以後、日本は3回にわたって7200万ポンドの公債を募集しましたが、シフはドイツのユダヤ系銀行などにも呼び掛け、これを実現させてくれました。何故、シフはこんなにも日本に味方をしてくれたのか。それはロシア国内で「反ユダヤ主義」が跋扈し、ユダヤ人が虐待されていたからです。日本が神の杖となって帝政ロシアを



打倒（だとう）することを願（ねが）ったのです。

日露戦争（にちろせんそう）後（ご）、日本（にほん）に招待（しょうたい）されたシフは明治天皇（めいじてんのう）から最高勲章（こうくんしょう）である勲一等旭日大綬章（くんとくしゅうにったいじゆしょう）が贈（おく）られています。

高橋（たかはし）とシフは以後（いご）家族（かぞく）つき合（あ）いとなり、高橋（たかはし）の二女（じよ）がニューヨークに三年間（ねんかんだいざい）滞在（ざい）した際にはシフの屋敷（やしき）にホームステイをしていたそうです。

1966年（ねん）にイスラエルのモシユ・バルトウール大使（たいし）が赴任（ふにん）して来た時（とき）にも昭和天皇（しやうわてんのう）は「日本人（にほんじん）はユダヤ民族（みんぞく）に感謝（かんしゃ）の念（ねん）を忘れ（わす）れません。かつて我（わ）が国（くに）はヤコブ・シフ氏（し）に大変（たいへん）お世話（せわ）になりました」と言（い）われたそうです。

太平洋戦争（たいへいようせんそう）に突入（とつにゅう）する昭和15年（しやうわねん）に日本（にほん）は日独伊三国軍（にちどくいごくぐん）事同盟（じどうめい）を結（むす）びました。そこにクーン・ローブ商会（しやうかい）の紹介（しょうかい）状（じやう）を持った二人（ふたり）の神父（しんぶ）がやってきました。この時（とき）にクーン・ローブと言（い）ったら日露戦争（にちろせんそう）で大金（たいきん）を貸（か）してくれた大恩（だいおん）のある銀行（ぎんこう）だ（ぞう）と氣（き）づく政治家（せいじか）はいませんでした。



高橋もその四年前に二・二六事件で暗殺されたため、
いませんでした。誰もクーン・ローブ商会の意図を考え
ようとしない人間がいなかったのです。クーン・ローブ商
会の代理人は「今、日本が同盟を結んでいるヒットラー
のドイツはかつてのロシアと同じようにユダヤ人を迫害
し、この世から抹殺しようとしている国だ。そのことを
世界中のユダヤ人は非常に恐れ、かつ怒っている。そん
な国と手を組んだら、日本は世界中のユダヤ人から敵視
されてしまうことになる。それでは日本のためにはなら
ないと思う。日本が今一番困っているはずの石油も、ま
すまず手に入らなくなるだろう。なぜなら、世界の石油
資本の多くも、ユダヤ人が握っているからだ。だから、
ドイツと手を切ってくれるのなら、石油についてもどう
にかしよう」ということを言いに来たようなのです。
日本が太平洋戦争へと向かわざるを得なかった最大の



理由は、石油を止められたことでした。もしも、クーン・ロブ商会を通じてユダヤ人が動き、ユダヤ資本系の石油が手に入れば、日本は戦争に突入する必要などなかったかもしれない。また、高橋がもし生きていれば三度目の日本救済になっていたかもしれない。残念なことです。

法華經の結經に『觀普賢菩薩行法經』があります。その中に「この舌の過患無量無辺なり。諸々の惡業の刺は舌根より出ず。正法輪を斷ずること、此の舌より起こる。此の如き惡舌は功德の種を斷ず」とあります。また、別のところには「舌根は五種の惡口の不善業を起す」とあります。

五種の惡口とは、まず「妄語」（嘘をつく）。二つ目が「惡口」（人の悪いところを言う）。三つ目は「兩舌」



(人の間を裂くような言葉)。四つ目は「綺語」(うわべだけを飾った言葉)。最後は「誹謗」(正しいことを誇る)です。これらの「不善業」は、いずれも害を世間に及ぼすものです。「そうならないようにするには、自分の心を絶えず整えなさい」とお経の中には書いてあります。心が整わず、我欲のまま生きてはダメなのです。

結びに、お釈迦さまがいかに言葉に注意を払っておられたかという逸話を紹介します。

マガダ国王ビンビサーラの子の一人にアバヤ王子がいました。アバヤ王子は母方の関係からか、初めはジャイナ教の信者でした。ある時、ジャイナ教祖ニガンタ・ナータプッタがアバヤ王子に対して、お釈迦さまを論破する方法として、「まず、釈尊に次のような質問をしなさい。『如来は他人が好まないような言葉を語ることがあ



りますか?』と。これに對してもし『然り』と答えたならば、『凡夫は他人が好まない言葉を語るが、如来は凡夫と等しいではありませんか』と言うべきであり、もし『然らず』と答えたならば、『惡逆の提婆達多について、如来は彼に、汝は救われないものだ、地獄に墮ちて一劫という長い間苦しむであろう』と言われたではありませんか』と言うべきである』と教えました。このようにお釈迦さまを返答に困らせて論破することを勧めました。

そこでアバヤ王子は、お釈迦さまを食事招待し、食後、お釈迦さまに對して、「如来は他人が好まない言葉を語られることがありますか?」と尋ねました。

すると、お釈迦さまは「王子よ、一概にそうとは言えない」と答えられました。

このお釈迦さまの答えは、彼がジャイナ教祖から教わった「然り」「然らず」の回答のいずれとも違っていた



ので、王子は困り果て、問答を続けることができませんでした。

そこで王子は、自分がジャイナ教祖から教わって質問をしたことを告白しました。

その時、王子の膝の上には彼の幼い子どもが寝ていました。お釈迦さまは王子に「もしそなたや乳母の不注意で、木片や小石を子どもがのみ込んだらどうするか？」と尋ねました。王子は、「私はどうしてもそれを取り出します。子どもの口に指を差し入れて、子どもが嫌がったり、口から血が出たとしても取り出します。子どもがかわいいからです」と答えました。

この後、お釈迦さまは王子に対して、六種の説法のあり方を話されました。

一、真実でもなく、役にも立たない、もし相手が好まない言葉であれば、仏はこれを説かない。



二、真実であるが、役には立たない、そして相手も好まない言葉であれば、仏はこれを説かない。

三、真実であるが、役には立たない、相手がそれを好む言葉であっても、仏はこれを説かない。

四、真実でもなく、役にも立たないならば、相手が好む言葉であっても、仏はこれを説かない。

五、真実であり、役にも立つが、相手がそれを好まない言葉であれば、仏は説くべきと判断して、これを説く。

六、真実であり、役にも立ち、また相手もそれを好む言葉であれば、仏は説くべき時を判断して、これを説く。

アバヤ王子はこの説法を聞いて、熱心な仏教信者となり、さらに出家をして阿羅漢の悟りを得たということです。



良い教えの話を聞きましょう。

全国の法音寺各支院・布教所では
毎月の講日の中で

三徳の教えを聞くことができます。

是非講日にご参詣いただき
教えを心にしみ込ませましょう。

◆ 今月の山首上人さまご親修日程

西春支院	4月2日(金)	高槻支院	4月4日(日)
神戸支院	4月10日(土)	安城支院	4月18日(日)
東京支院	4月24日(土)		

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

支院・布教所名	今月の講話日など	住 所	電話番号
大乗山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	4日・17日・24日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
山形布教所	7日	山形市長町2-4-6	☎(023)681-0770
静岡支院	2日・12日・22日	磐田市中心4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	11日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	11日・24日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825 ご連絡は本山事務局へ
佐屋支院	4日・11日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0567)32-1825
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0586)72-7208
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎(0568)22-5813
岐阜支院	4日・14日・18日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)245-2939
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(058)388-2740
大垣支院	1日・11日・21日	大垣市宝和町5	☎(0584)78-4854
関支院	3日・13日・24日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)22-0776
平賀支院	5日・15日・25日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)23-3771
郡上八幡支院	8日・25日	郡上市八幡町小野7-21-3	☎(0575)65-3933
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(059)352-3633
上野支院	1日・11日・21日	伊賀市上野向島町3475	☎(0595)21-0127

京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	4日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	11日・23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
和泉支院	4日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(072)466-3112
神戸支院	10日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)421-0175
岡山支院	4日・7日・23日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	12日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	4日・18日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	10日・25日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)621-5087
安芸津支院	4日・18日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)451-4012
坂支院	18日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	4日・15日・18日・28日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1112	☎(0920)441-5445
筑後布教所	11日・25日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)531-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)581-0742
田川支院	11日・25日	田川市春日町7-30	☎(0947)421-1819
名古屋地区	7日・17日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日・24日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)851-6860
亀岡布教所	12日・25日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)251-7807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)

YouTube 法音寺チャンネル情報!

いつもYouTubeチャンネルをご覧いただきありがとうございます。
現在公開している動画のラインナップをご紹介します!

▼ こんな方にオススメ ▼

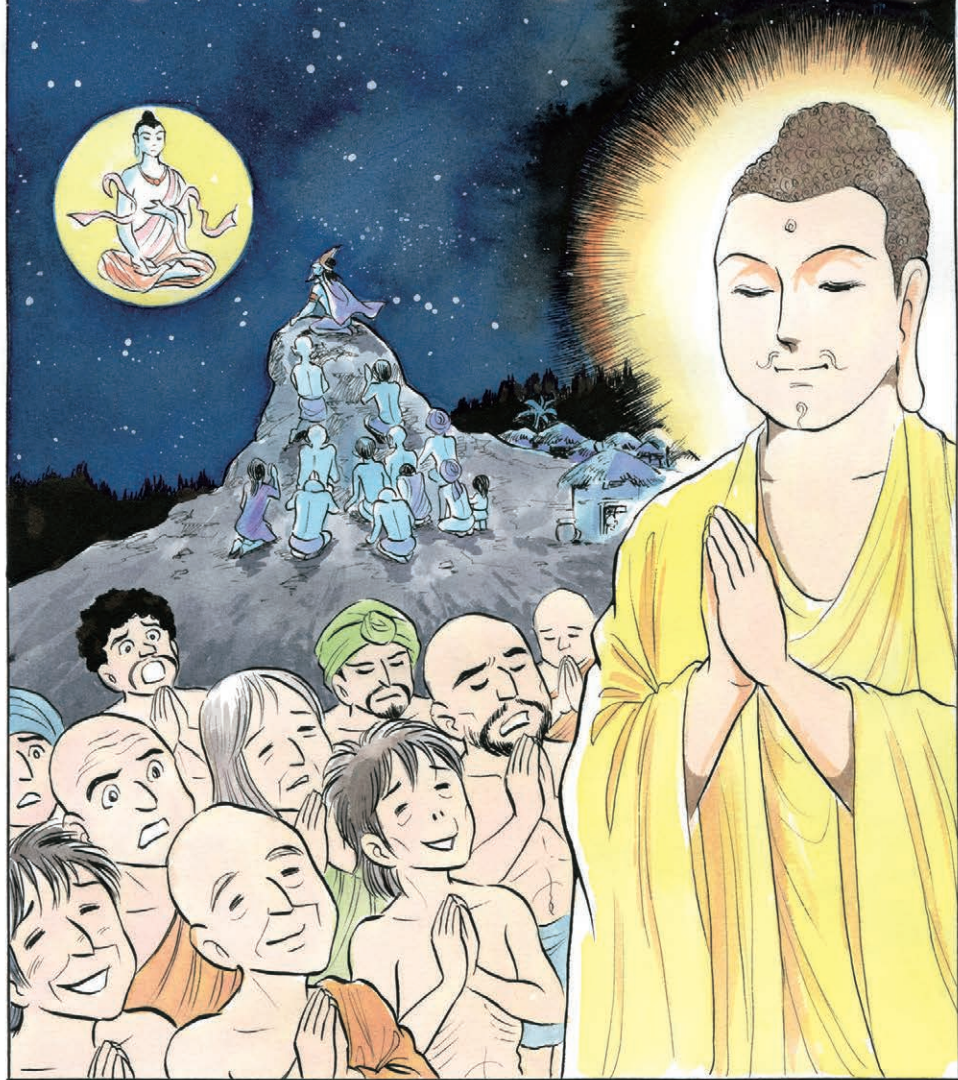


日蓮宗 大乗山法音寺公式
YouTube チャンネルからご覧ください
<https://www.youtube.com/user/houonjimovie>

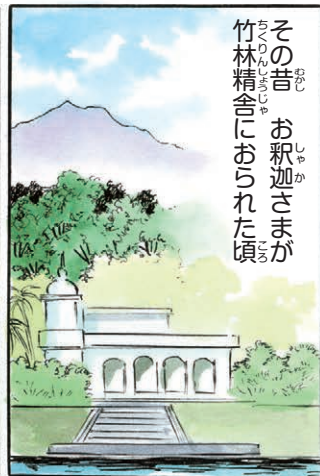


ぶつ ぎょう せつ わ
仏教説話

え きびょう しゅう そく みち
疫病を終息させる道



その昔、お釈迦さまが
竹林精舎におられた頃



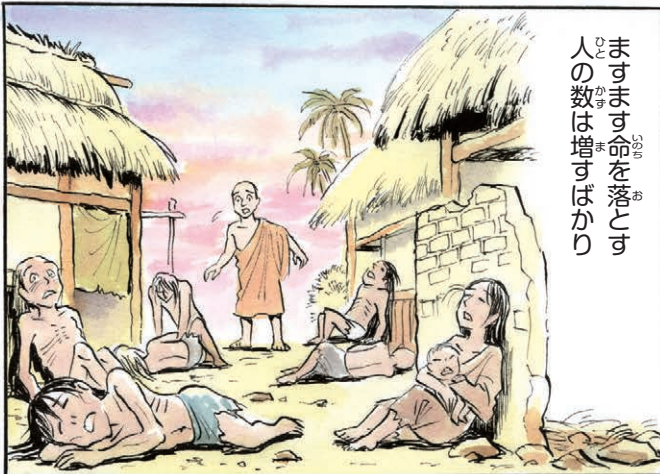
ある集落で
疫病が流行り
多くの人が
命を落としていました



人々は疫病退散のため
天に礼拝しましたが
一向に収まるどころか…



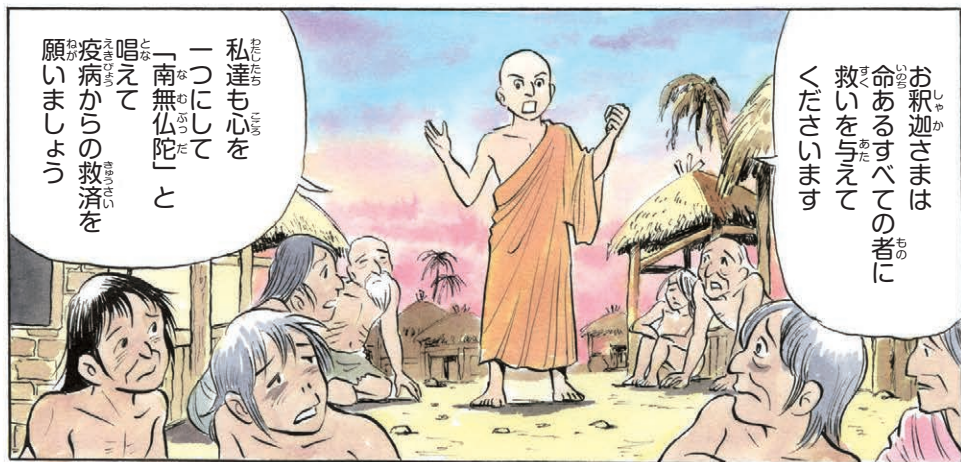
ますます命を落とす
人の数は増すばかり

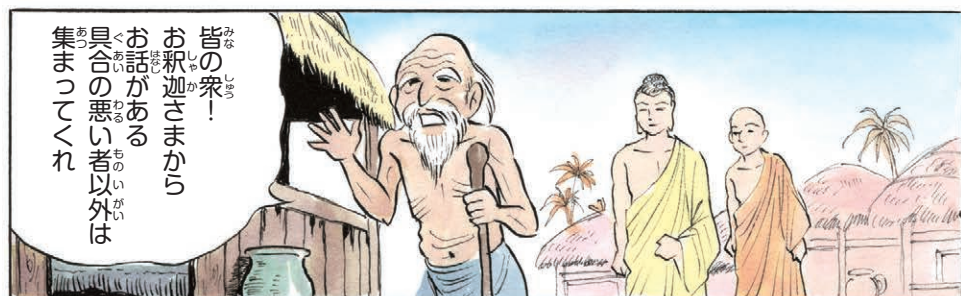
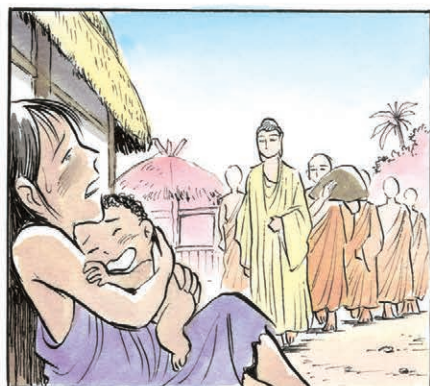


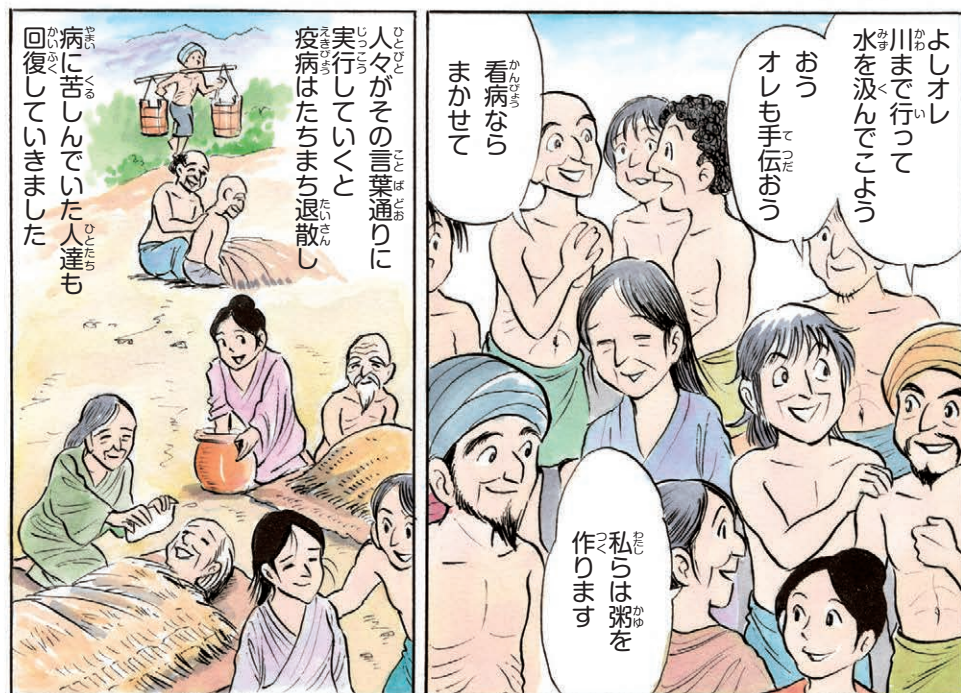
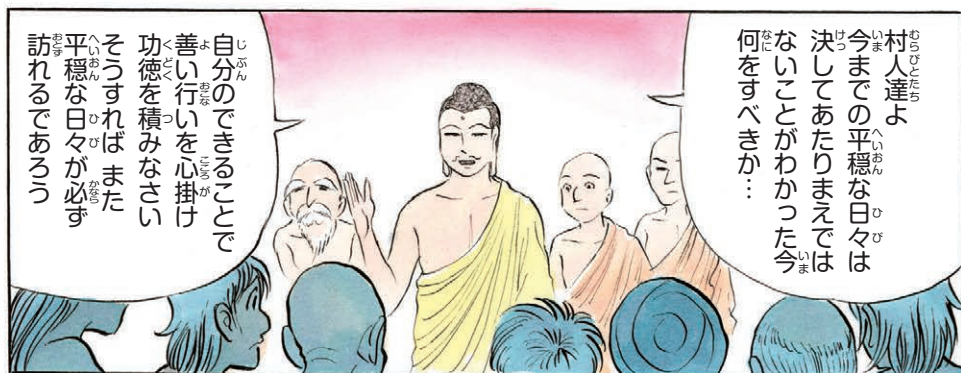
皆さん
聞いてください

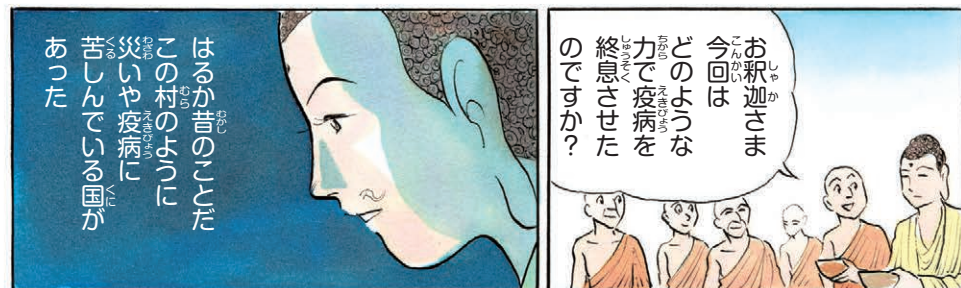
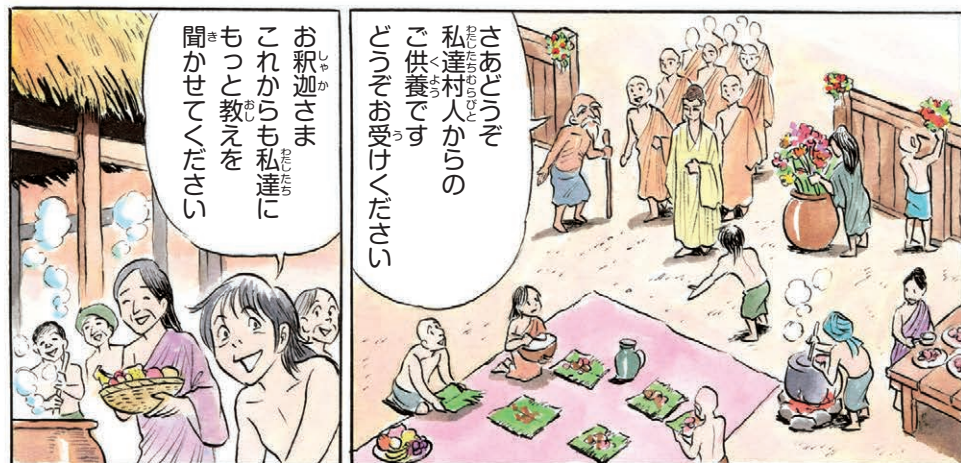
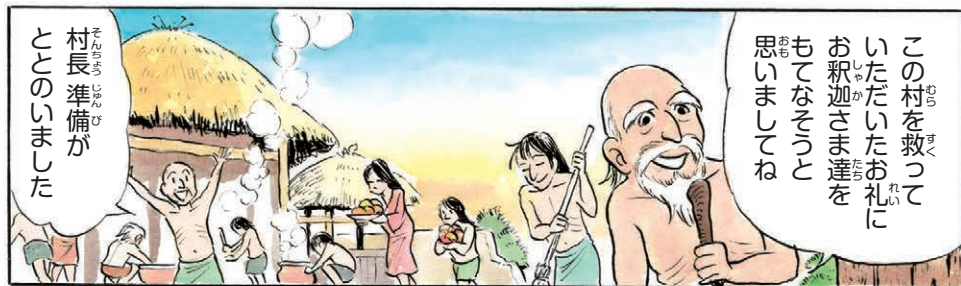
私の師は
お釈迦さまです











その時日月光如来という
仏が出現したのだ

お願いがあります
どうか民衆を災い・疫病から
救っていただけないでしょうか



この法衣を幡の頭につけて民衆とともに
ご供養を捧げなさい
そうすれば災いや
疫病は退散して
いくだろう



王は大いに喜び
菩薩の心に
目覚めたのである

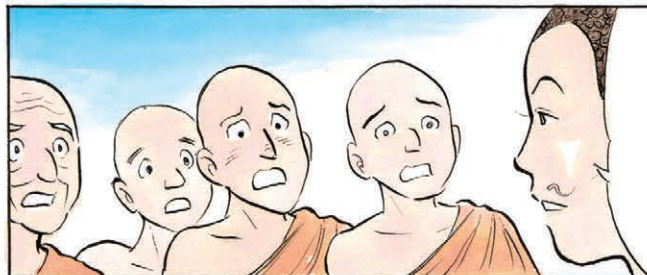
あなたは来世で
釈迦牟尼如来という
仏になり多くの人々を教化し
救うことになるでしょう



その王とは
私のことであり
その王が率いていた
民衆はあなた達
修行者なのだ



あなた達は昔
私とともに仏に
ご供養したことにより
遥か長い年月の間
地獄・餓鬼・畜生の
三惡道に墮ちる
ことがなかったのだ



仏を供養して善行を施すことが
未来永劫にわたり良い縁（因縁）を作る
そしてその良い縁によって
三悪道に墮ちることなく
疫病からも救われるのだ

過去世で法に出会い
目覚めた者は今世でも法を伝え
人々を救っていかねばならないのだ

人々は教えを聞き
歓喜しました

今を生きる私達も
困難に遭っても
それを
乗り越えられるよう
功徳を積み
重ねましょう

中外日報に 法音寺発行の『大白牛車』(十) が紹介されました。

日蓮宗

法音寺前住職の講演録

名古屋市の法音寺は、
顕修院日達（鈴木宗音）
第2世住職七回忌の報恩
事業として、講演録『大
白牛車（十）』＝写真＝
を発売した。

日達前住職は1930

年、鈴木修
学開山の長
男として生
まれた。早
稲田大大学
院を修了
後、日本福
祉大講師を経て62年に法
灯継承。社会福祉法人昭
徳会理事長、法音寺学園
理事長、日本福祉大学長
などを歴任。全国に19の
支院・布教所を新設し教
線を拡張するとともに福
祉事業の対象も青少年
から高齢者にまで広が
った。2012年に83歳で
亡くなった。

今回収録された講演
は、同寺の基となった仏
今収録された講演
しのわざはかい薄き世
ぞ」を引用した法話で

とこそ、すりなれ／くす

医師だった村上元会長

の歌「いたつきは悟るこ

とこそ、すりなれ／くす

鈴木修学開山の言葉や和

歌を解説しながら進めら

れる。

代会長で法音寺を開いた

杉山辰子始祖、医療面か

らも福祉活動を支えた村

上・第2代会長、第3

代会長で法音寺を開いた

鈴木修学開山の言葉や和

歌を解説しながら進めら

れる。

代会長で法音寺を開いた

鈴木修学開山の言葉や和

歌を解説しながら進めら

れる。

大白牛車 (十)

法音寺前住職 鈴木修学

「迷いがあるから悟らせ
て頂けるのです。病氣や
悩みも悟りに至る道であ
ります」「信仰によって
「ありがたい」という心
がどこかにあると、落ち
着いてきます。これは病
気がよくなる秘訣であり
ます」と語るなど、人と
しての生き方が説かれて
いる。巻末に遺墨や写真
を多数収録する。

知っているようで知らなかった!?

法音寺のこと①⑥

八事少年寮

知的障がい児は、先天的、または出生後の早い時期に脳を患うなどの理由により知能の発達が遅れている子どもです。戦前の日本では、ごく一部の人が自費で世話をする以外は、放置されたままでした。国が知的障がい児の教育に関する法律や制度を整備するのはまだ何年も先の話でした。

名古屋大学で精神医学の権威だった杉田直樹博士は、私財を投じ、自宅を開放して約30名の知的障がい児とともに暮らしながら、治療と保護・育成にあたっていました。それが「八事少年寮」です。

昭和23年、名古屋大学を辞めて東京に帰ることになった博士にとっては、八事少年寮とそこで暮らす子ども達をどうするかが一番気にかかる問題でした。役所に相談しても、「施設を経営する予算もなく、前例もない」と断られるばかり。そんな時、一人の役人が博士に声をかけました。

「もしよければ、私が個人的に知っている養護施設に引き受けてもらえるかどうか聞いてみましょうか」

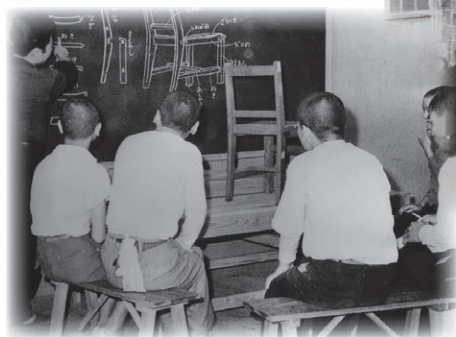
「心当たりがあるのですか？」

「はい、昭徳会というのですが…」

「昭徳会といえば、もしかや鈴木修学（修一郎）さんの…」

博士との面会はすぐに実現し、御開山上人はその場で快諾されました。

自宅に戻った博士は、門下生に報告したといいます。



「修学さんという人は実にすごい人だった。快く引き受けてくださった」

その後、門下生達も御開山上人と話す機会を持つことになりましたが、その中には、後の日本福祉大学で学監を務めることになる堀要氏もいました。堀氏は後にその当時を振り返り、「修学先生は弱者の心をよくつかんでいる方で、ただただ感嘆するばかりだった」と語ったそうです。

こうして昭和24年8月、八事少年寮は財団法人昭徳会によって経営されることとなりました。御開山上人は用地を拡充し寮舎も大幅に増築して定員を倍の60名に増やすだけでなく、知能と年齢に応じて学

級を作り、国語・算数・理科・社会などの学習に加え、子ども達が成長した時に日常生活が営めるようにと手芸・編み物・木工作業などの技能教育も試みました。

「どんな子にも、できる限り普通の人生を送らせてあげたい」

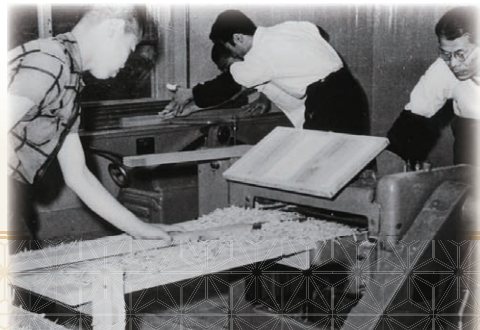
世間が知的障がい児の人権を問題にするはるか以前に、御開山上人は子ども達を一切差別することなく「わが子」として世話をし、自立の道を模索し、幸せを願っていたのです。

それは、一人の慈善事業家の良心からというより、
「仏さまならどうなさるか」という、宗教人としての自らの問いかけに答えたものでした。

参考文献



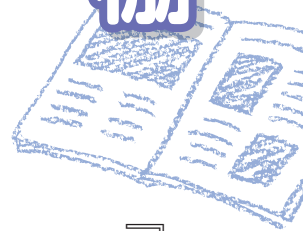
御開山上人伝
『泰山』第三話





お寺の本棚

『始祖・御法話集』



善因善果・悪因悪果

佐渡御書に曰く、「世間に人の恐るる者は、火炎の中と刀剣の影と此の身の死するとなるべし。牛馬猶身を惜しむ、況んや人身をや」と。

およそ世間の人が忌むものは、咄嗟の災難と、病氣と、この身の死することでありましょう。然らば、人々はこれら嫌忌すべきものを避けて、幸福へと、その道を踏みつつあるではありませんか。

「自分さえよければ他人は如何に迷惑するとも構わぬ」というような心遣いをしたり、また、足ることを知らず常に不満を抱いて愚痴を言い、僅かなことにもムカムカと腹立つようなれば、如何に災難を嫌うとも、これを免れることはできません。言うまでもなく、各人平素の心掛けが肝要であります。

世間には時折、「何か良いことはないか」と尋ね合う人々を見聞き致しますが、その過去に善いことがたくさん行じてあればともかくも、善いこともせずしてどうして良いことがありましょうか。今までに善いこともせずして何か良いことはないかというのは、あたかも一粒の種もまかずして米は取れぬかというのと、少しも変わりないのであります。





されば、良きことの到来するにどうすればよいのでしょうか。申すまでもありません。何をおいても善根功徳を積まねばならぬのであります。仏道に依って慈悲・至誠・堪忍の精神修養をするのであります。仏説いて曰く、「七宝を以て三千大千世界に満てて、仏及び大菩薩・辟支仏・阿羅漢に供養せん。是の人の所得の功徳、此の法華經の乃至一四句偈を受持する、其の福の最も多きには如かじ」と。また、「一切の樂具を以て四百万億阿僧祇の世界の六趣の衆生に施し、又阿羅漢果を得せしめん。所得の功徳は、是の第五十の人の法華經の一偈を聞いて随喜せん功徳には如かじ。百分・千分・百万億分にして其の一にも及ばじ。乃至算数・譬喩も知ること能わず」と。

自分に精神修養をすると共に、他人にこれを教えて善道に入らしむることは、実に大いなる功徳であります。世界中の民衆に如何ほど財宝を与うると雖も、法を与えざれば、この民衆は現世安穩・後生善処と救われることはできません。むしろ、怠惰者となるでしょう。もし、一人の立派な人物を作れば、この人が次から次へと立派な人を作って、ついには、全世界を平和に、即ち、娑婆即寂光土・娑婆即無上道ともすることができます。

この意義に則り、本会はずまず自己の修養に努め、さらに進んで一般的にこれが宣伝を致して、善道に導かんとするのであります。

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。

教えて三徳

三徳とは、慳貪（貪り）の心を翻して施しの心とし、

瞋恚（怒り）の心を転じて柔和忍辱に変え、

愚痴を改めて智慧と変えることです。

（二祖村上斎先生）

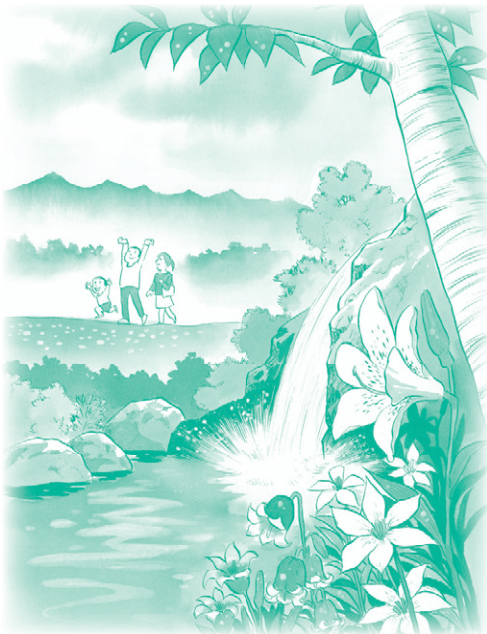
◆ ストレスと縁を切るには…

日々愚痴不足を口にする人がいます。今ある状況をよりよい状況と比較すれば常に不幸です。お金は生きていけるだけのものがあればいいはずですが、ある程度充足されると必要以上に求めようという欲が出てきます。さらに衣食住が満たされると、次第に「他人よりも」という見栄に心が支配され、欲は際限なく続いていくものです。どこまでいっても満足がありません。満たされないという思いがストレスになります。ないものを数えて嘆くより、今あるものに感謝してみませんか。不平不満や愚痴ばかりで、喜びの心が湧かないのは、何に対しても「あたりまえ」という気持ち

強いからです。ところが、よく考えれば世の中に、（あって）あたりまえ、なものなど一つもないことに気づきます。『ありがたい』ことは、『あたりまえ』と思っている中にあります。見方を少し変えると、『ありがたい』ことはどこにでもあるのです。

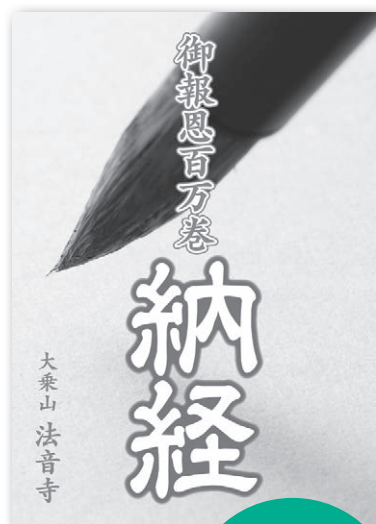
《必要以上に求めない》（貪らない）

法華経譬喻品には「諸苦の所因は、貪欲これ本なり。若し貪欲を減すれば、依止する所なし」（辛いこと、苦しいことはいろいろあるけれど、そのもととは求めすぎることにある。その心がなくなれば消えていく）とあります。ありがたいことが一つ見つけれられたら、今日一日はそれを喜び、それ以上求めないことです。徳を積み、心を広くしていくと自分中心の心が少なくなり、貪りの心はおさまっていきます。



御報恩百万卷納経

—あなたも書写してみませんか？—



いよいよ完達間近！
現在 **976,240** 巻
残り **23,760** 巻！

こんな声が寄せられました

初めてお写経をしました。
書き終えた後の心の落ち着きが気持ち
良く、イライラが少なくなっていました。
これからは家族の名前でも書
写します。



80歳 女性

小学校一年生の孫が、御報恩納経を書
写しました。
書き上げたときの誇らしげな顔をうれ
しく眺め、孫をほめる機会にもなり、
仏さま・法音寺のみ教えとの御縁が深
くなったことを、妻ともども
喜びました。



74歳 男性

お題目を唱えながら書写していると涙がポトリと落ちました。最初は目の具合
が悪いのかと思いましたが、書く度に同じことが起きました。
「あなたの目は、お父さま・お母さまからいただいた目です。お写経すること
で、ご両親も喜ばれているのではないかしら」と教えてくださる方がいました。
安心と感謝を一度にいただきました。両親への感謝を込めて納経を続
けます。



57歳 男性

お求めは法音寺本部及び最寄りの支院・布教所まで

福祉の ひろば



幸せのお手伝い

相手のことを
よく知ることがとても大切

自閉症のK君との出会い

私には、7年前の忘れられない出会いがあります。K君は、4歳児で入園してきました。K君は自閉症だったため、担任することに不安を感じていたことを今でも覚えています。それまでの私の保育士としてのモットーは、「全力！」だったため、〃よし！今回も全力でいこう〃と意気込んでいました。入園式の日、保育園に通うことを受け入れないでいるK君に、お母さんは心配そうに眉間にしわを寄せ、不安げな表情をしていました。

保育初日、K君は保育室に入らず、玄関で過ごしました。給食が始まって、白いご飯以外は何も食べることができず、〃どうしたらいいの、何かできることはないか〃と悩みはどんどん増していきます。上司に相談したり、加配保育士（※）と話し合いを重ねたりしても解決はしません。「全力」が私の保育だと信じ、何事も熱く突っ走ることが良いと信じて保育をしてきたのですが、K君には全く通じません。そんな時、ふと〃もしかしたら、私の関わり方や雰囲気がいけないのではな

いか〃と思い、自分自身の保育を見直すことにし

ました。K君は何か好きで、どんなことに興味を持っているのかに目を向けることからやり直そう〴〵と思いました。

K君は聴覚過敏だったため、大きな音や高い音は苦手です。しかし、毎日CMの曲やゆずの曲を〇ずさんでいることに気づきました。何気なくピアノでK君が歌っている曲を弾くと、一緒に弾き始めたのです。毎日一緒にピアノを弾くうちに、少しずつ笑顔が見られるようになり、さまざまなことに對して成長や変化がみられるようになりました。それに伴って、保護者も少しずつ表情が和らいでいました。

私は、自分の思いばかりに目を向け、子ども達の視点に立ち、子どもの特異性や背景などを踏まえて保育することを忘れていました。K君との

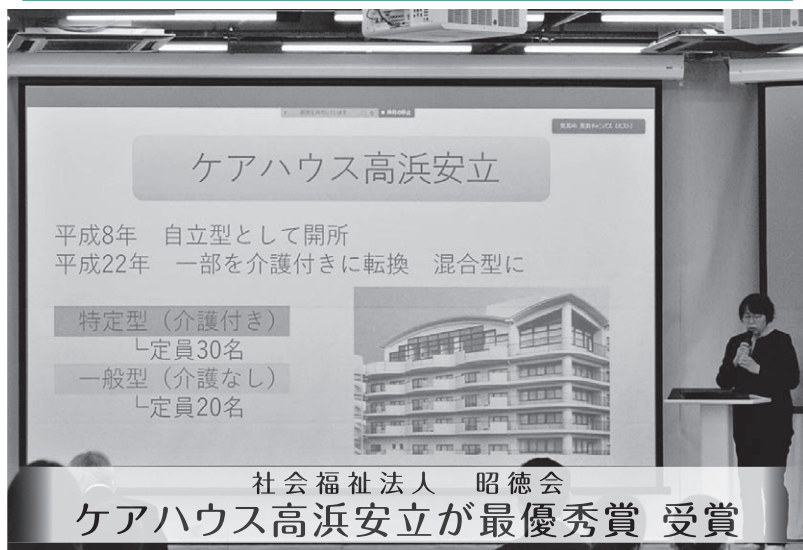
関わりの中で、まずは相手のことをよく知ることが、保育をする上でとても大切なことだと気づきました。K君は、小学5年生になった今でもピアノを続けていて、時々発表会に招待してくれます。K君が私に教えてくれた保育士として大切なことをこれからも忘れずに、一人ひとりの子どもとしっかりと向き合っていきたいと思います。

天王保育園 保育士 尾崎 明香

(※) 加配保育士
障がいの診断を受けた子どもを対象に配置される保育士



第13回 福祉実践発表会 日本福祉大学で開催



写真提供・昭徳会

令和3年2月15日、第13回福祉実践発表会が開催されました。これまでは全施設が日頃の取り組みを発表してきました。しかし、今年度からは、「高齢」「障がい」「児童・保育」から分野を絞っての発表とし、今回は高齢分野7施設が発表を行いました。また、日本福祉大学を開催会場とさせていただき、日本福祉大学の学生さん達にも、オンラインで参加してもらい、昭徳会の取り組みを知っていただく機会となりました。

今回の発表会は、日本福祉大学の関係者の皆さまに昭徳会の取り組みを知っていただくだけでなく、昭徳会の職員も、日本福祉大学のことを知る良い機会となりました。日本福祉大学は、鈴木修学初代理事長が、「社会事業の現場で働く指導者養成のための大学をつくる」と、福祉の発展に対する強い思いから創立されました。昭徳会の職員が、利用者の「幸福（しあわせ）」のために、お互いに切磋琢磨してきた取り組みを日本福祉大学で発表できたことは、法人連携の大きな一歩になったのではないかと

思います。

今回の発表会では、参加された皆さまに、最も印象に残った施設を選んでいただきました。7施設すべてが素晴らしい発表でしたが、最優秀賞を受賞した施設は、ケアハウス高浜安立でした。発表テーマは、「悔いの残らない最期を迎えるためにACPシートを活用した取り組み」です。発表内容を簡単に紹介させていただきます。

ケアハウスの入居者が、施設での看取りを希望する場合、満足いく最期を迎えられるためにはどうしたらいいのかをテーマに取り組んだ内容でした。ACPとは「アドバンス・ケア・プランニング」の略称です。人は皆、いつでも大きなケガや病気

施設名	発表テーマ
特別養護老人ホーム 小原安立	腸スッキリ！腸元気！
特別養護老人ホーム 高浜安立荘	家族に新しい選択肢を ～在宅入所相互利用とは～
特別養護老人ホーム 安立荘	ケアの質の向上を目指して ～恵びのカンファレンスを通して～
養護老人ホーム 高浜安立	安穩な我が家を目指して ～小さな気づきが大きな事故を防ぐ～
ケアハウス湯山安立	笑顔たくさん ～コロナウイルスに負けるな～
ケアハウス高浜安立	悔いの残らない最期を迎えるために ～ACPシートを活用した取り組み～
ケアハウス大阪安立	感染症と共にニューノーマル ～ラジオ体操と施設内消毒活動を通じて～

をして、命の危機が迫る状態になる可能性があります。そうした時に、どのような最期を迎えたいかに
ついて、本人、家族、職員など、ケアに関わる人達
が事前に話し合い、本人の希望や価値観を明らかに
し、共有するものです。共有する内容には、治療方
針だけでなく、最期をどの場所で迎えたいか、やり
残したことはないかなども含まれます。本人が意思
を伝えられなくなっても、代わりにその意思を伝える
ことができる人がいれば、本人の想いを尊重する
ことができ、むずかしい決断をする場合の助けとな
ります。これらのことを書面にまとめた「ケアハウ
ス高浜安立版ACPシート」を作成し、入居者の看
取りを実施した取り組み事例が紹介されました。
来年度は、障がい分野の発表となります。どのよ
うな取り組みについて発表されるのかとても楽しみ
です。

社会福祉法人昭徳会 法人本部事務局 人事課長

瀬瀬 純司

三法人連携事業の推進

日本福祉大学

「昭徳会と大学が連携して施設見学会、福祉実践発表会を実施」

本学では、宗教法人法音寺、社会福祉法人昭徳会と学校法人日本福祉大学の3つの法人が連携して学園創立者鈴木修学先生の志を受け継いでいく取り組みを「三法人連携事業」とし、昨年には学内にも「三法人連携会議」を設置し、推進に向けての学内の諸課題について議論を重ねています。

とりわけ昭徳会とは、実習教育や就職での連携関係にとどまらず、『互いに連携・協働することで、社会課題の解決と未来の人材養成を、より一層強固にかつ確実にすすめること』をめざして、「実践研究の推進」「人財育成」「人財交流」の3つの柱を掲げて、事業の具体化に取り組んできました。2020年度はコロナ禍での制約がありましたが、2つの新たな取り組みを実施することができましたので、ご報告させていただきます。

〈実践研究の推進・研究ニーズ調査に基づき

高浜エリアの施設見学会を実施〉

本学の全8学部に在籍する200名以上の教員に対し、昭徳会の各施設で実施したい研究・調査等についてアンケートを実施したところ、「福祉分野」のみならず「建築」「リハビリ」「心理」「経済」など、幅広い領域にわたって回答がありました。このアンケート結果をふまえ、12月17日、高浜エリアの施設見学会を開催しました。利用者さまのデータ集積、災害を想定した施設環境づくりなど、今



写真提供・日本福祉大学

後、協働で取り組む可能性のあるテーマや実施にあたっての課題などについて、意見交換が行われました。

〈人財交流…「福祉実践発表会」を

美浜キャンパスで開催

毎年、昭徳会の事業として実施されてきた「福祉実践発表会」が三法人連携事業に位置づけを変更し、2月15日、美浜キャンパスで開催されました。本学学生をはじめ学園関係者にも広く参加を募り、昭徳会職員の皆さんにも本学のキャンパスを知っていただき、これらを通じ人財交流を図ることを目標に掲げて取り組みをすすめました。緊急事態宣言下での開催となったため、会場参加者は制限せざるを得ない状況でしたが、オンライン会議システムを



併用し、さまざまな場所から本学学生含め約100名の参加となりました。参加学生からは「実際の現場での課題や解決に向けての取り組みを聞くことができ、さまざまな職種の方達が利用者の生活を支えていることが理解できて良かった」などの感想を聞くことができました。

いずれの取り組みも緒に就いたばかりですが、実践の現場と教育・研究の場が持つそれぞれの資源を組み合わせて、利用者支援内容の充実、研究成果の発信、施設と大学の連携による人材育成の新たな取り組みにつながるよう、着実に取り組みを進めていきたいと考えています。

2020年度の事業実施にあたりましては、多くの皆さまにご支援とご協力を賜りました。この場をお借りして心よりお礼申し上げます。そして今後も引き続き何卒よろしくお願い申し上げます。

理事長・学長室課長 亀山 哲也

幸せの種まき

良い教えの本を
いっぺんに一頁だけ
読みましょう

毎日少しだけ
仏さまの教えにふれる
習慣をつけましょう

大乗山 法音寺

編集後記

編集部では、これまで発行してきた月刊『法音』のバックナンバー（小冊子化された昭和50年1月号・第63号より）を一年ごとに製本して保存しています。それを見てみると、まさに法音寺の宝、教えのすべてがここにあると感じます。そこには、それぞれの時代に編集に携わった人達の「山首上人さまのお言葉を何としても多くの人達に届けるのだ」という思いがあり、ちょっとした感動を覚えます。

さて、新たに『教えて三徳』というコーナーがスタートいたしました。その編集にあたり、特に教化の部分は過去の『法音』の記事を参考にさせていただきました。

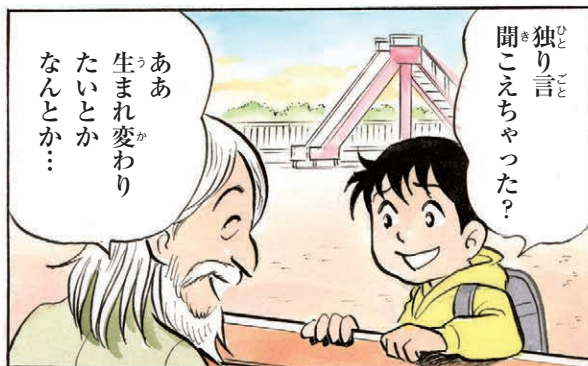
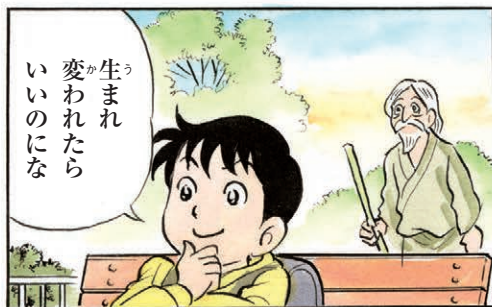
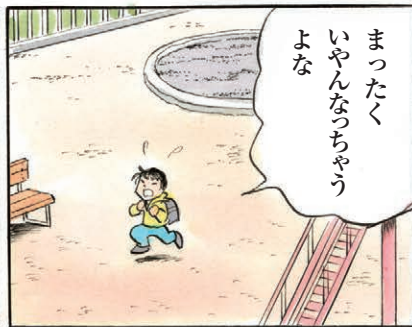
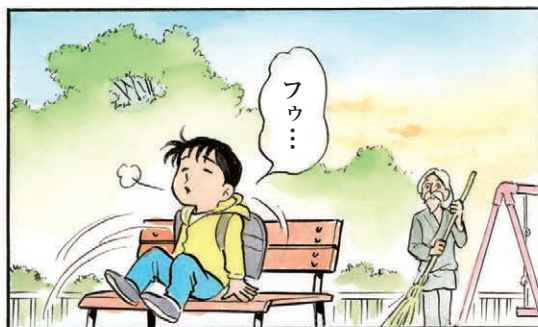
ふと、「すべての『法音』のバックナンバーを保存されている読者はどのくらいいらっしゃるのだろうか」という思いが湧き上がってきました。時に昔の『法音』を手にとって、珠玉の教えとともに当時のご自分を振り返ってみるのもいいのではないですか。

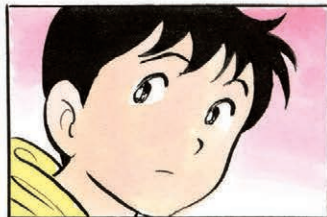
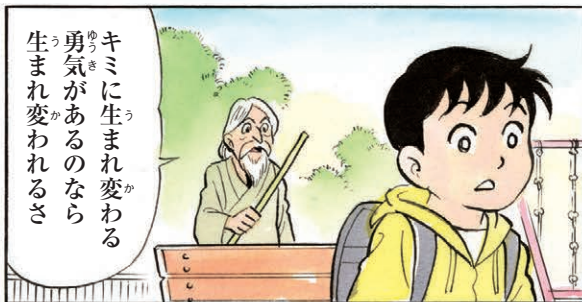


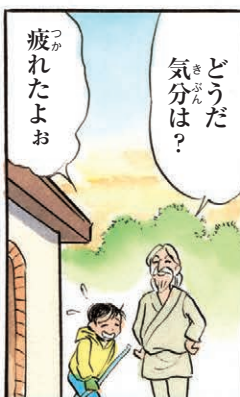
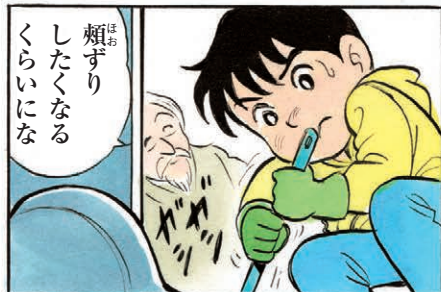
トイシの神さま

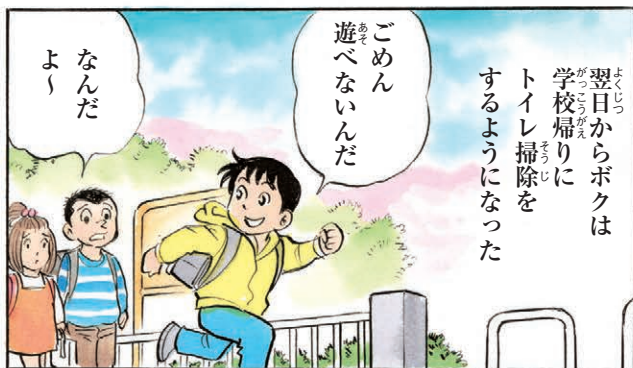
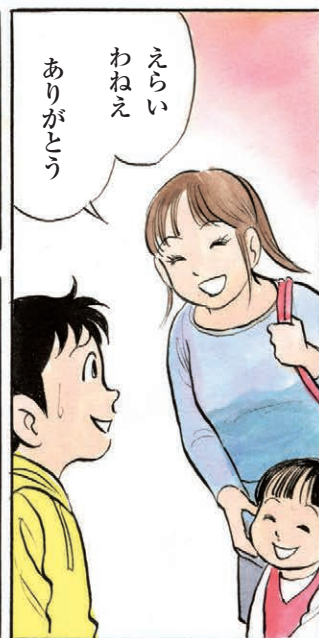
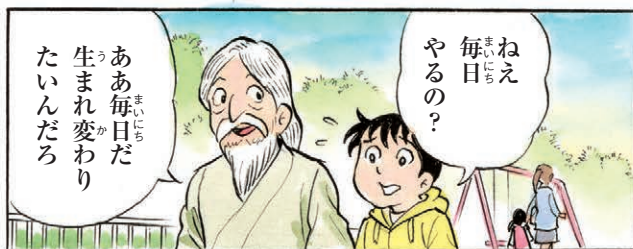
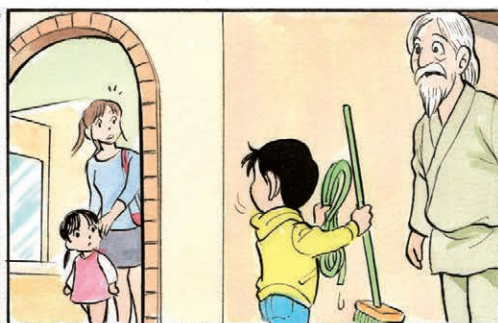
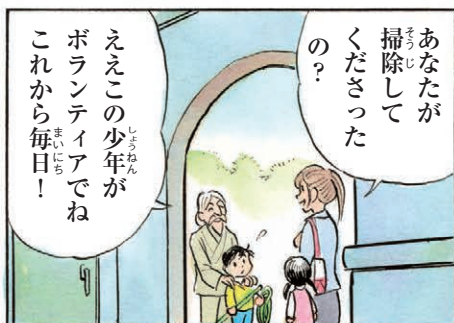
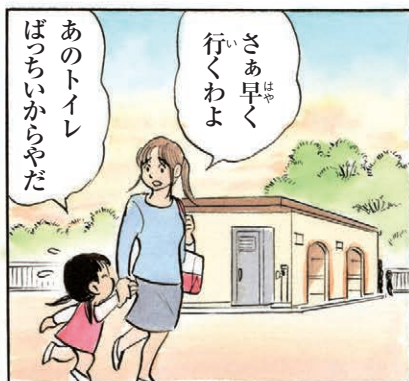
竹中 淳

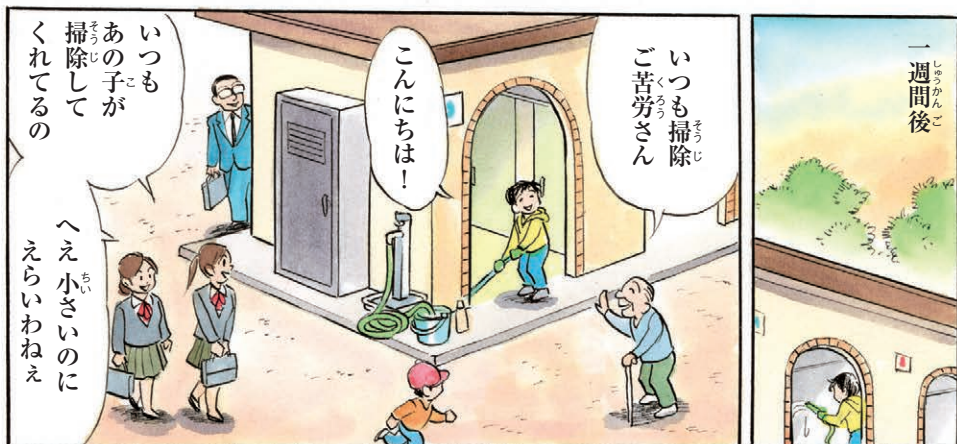
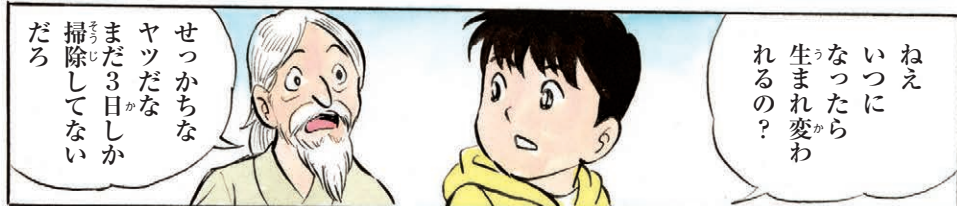
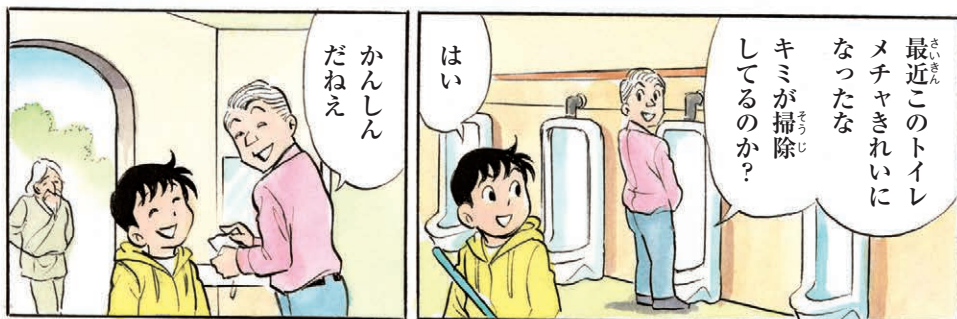
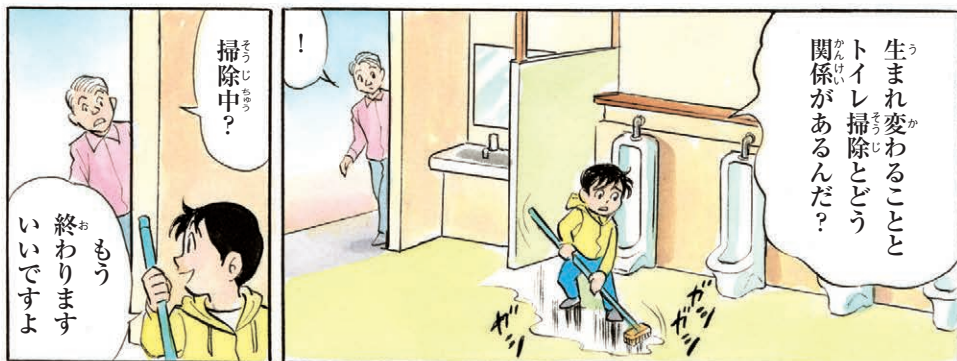


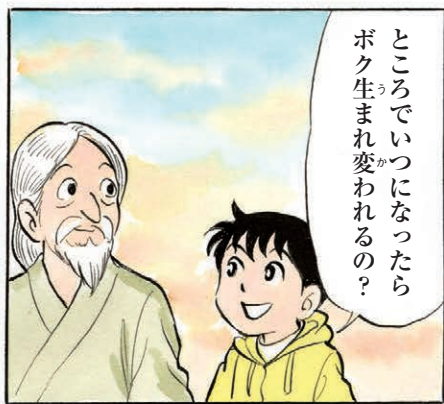
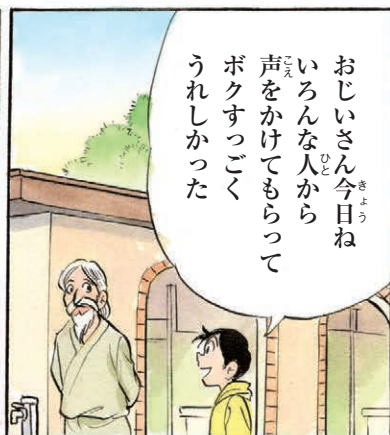






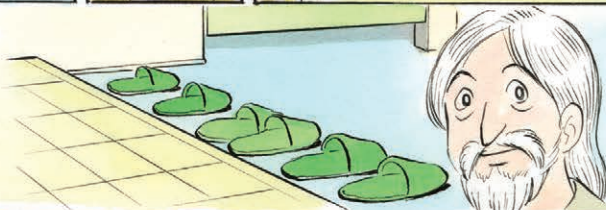








今まで^{いま}気^きにも
しな^しかつた^{かつ}ことが
メチャメチャ^き気^きにな^なった

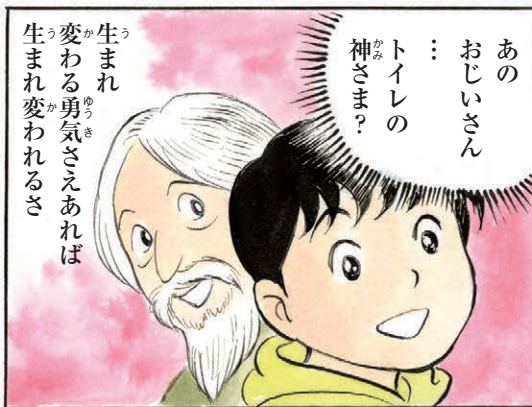


おじいさん
ボク^がが生まれ
変^かわった^つかどう^うか
わ^わから^らない^いけ^けど

まちが^ない^なく
ボク^のの中^{なか}
何^{なに}か^が
変^かわ^わった^つよ



そうい^いえ^えば
お^おばあ^あちゃん^んから
トイ^トイレ^{イレ}には
神^{かみ}さま^まが^がい^いる
つ^つて^て聞^きいた
こ^こと^とあ^ある^るけ^けど



生^うまれ
変^かわ^わる^る勇^{ゆう}気^きさ^さえ^えあ^あれ^れば
生^うまれ^れ変^かわ^われ^れる^るさ

おしまい

法音寺物語

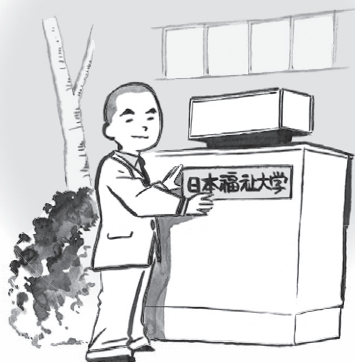
社会福祉という言葉がなかった時代…
人々を本当の幸せにする仏教の精神で
社会的弱者を救済する人達がありました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、
差別を受けたハンセン病を患った人々に
寄り添い、様々な事情で親をなくした
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後(昭和22年)のこと。
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を
運営する中で、本当に人々を救済するには
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





勇猛精進

相手を満足させればすぐ喜びがくる
相手をいたわれば喜び合う日が必ずくる

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大修行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
<https://www.houonji.com> FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています



SNSでつながる法音寺



法音寺公式
facebookで
毎朝7時
『一日一言』
配信中!!

こちらの
QRコードから
ご覧いただけます。



毎週火曜日
法音寺メールマガジン
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、
人にやさしく生きていくための
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから
メールマガジン登録フォームを
ご覧いただけます。



YouTubeにて
法音寺チャンネル
開設中!!

<https://www.youtube.com/user/houonjmovie>

こちらのQRコードから
法音寺紹介動画を
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索



法音寺の社会福祉・教育事業



徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭 徳 会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保育所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市中区駒方町4-10
TEL (052) 831-5171
<http://www.syoutokukai.or.jp>



我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL (0569) 87-2211
<https://www.n-fukushi.ac.jp>



法音・令和3年4月号・No.618・令和3年4月1日発行

発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会

非売品／印刷・(株)一誠社